

# 京都文化交流 コンベンションビューロー通信

7<sup>2025</sup>月号

KYOTO  
TRADITION MEETS INNOVATION

## CONTENTS



大阪・関西万博きょうと推進委員会主催「EXPO KYOTO MEETING ～和のこころと地球の未来～」が開催されました。  
(4月23日、大阪 夢洲 万博会場内)

- P1…2024年の京都での国際会議の開催状況
- P2…令和7年度のMICE助成金について
- P2…海外プロモーションについて
- P3…サステナブルMICEの実施
- P3…「TechTourKYOTO」事業の実施
- P3…大阪・関西万博を京都の発展につなげる
- P4…第5回「古典の日文化基金賞」受賞者決まる
- P4…街かど古典カフェの開催
- P4…開館20周年の京都迎賓館にお出かけください

## MICE

## 2024年の京都での国際会議の開催状況

6月16日に、2024年に京都で開催された国際会議の開催状況について発表いたしました。

2024年は、5年ぶりに200件を超え、**225件（京都全域）**となりました。

2020年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状態が続きましたが、厳しい状況の中でも弛まぬ誘致活動、助成金の新設など様々な取組が功を奏し、**JNTO 基準による国際会議の開催件数は京都市域で210件（前年より38件増）、市域を除く京都府域では15件（前年より6件増）**を記録しました。

京都市域では、7月に「IVS2024KYOTO」が2年連続京都で開催、8月には「第27回国際昆虫学会議」が44年ぶりに京都で開催されるなど、大型会議の開催が着実に復調の兆しを見せています。JNTO 統計より厳格な基準を採用する、**国際会議協会 (ICCA)**

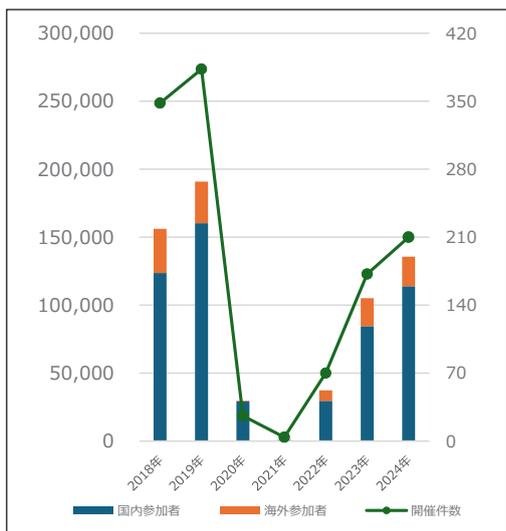
基準においては、**京都市の件数が前年より8件増の49件**、前年の52位より10位上がり**世界42位**となりました。

京都府域（市域を除く）においては、南部を中心に開催があり、北部においてもその地域特性を生かした国際会議が開催されるなど、コロナ禍前の件数とほぼ同水準まで開催が回復しました。

また、当財団では、開催を契機とした府民・市民公開講座などの地域貢献や環境に配慮したMICE開催の実現を目指すなど、サステナブルな取組についてもより一層推進しているところです。

今後も引き続き、会員企業・団体の皆様、京都府、京都市、京都商工会議所、国立京都国際会館・京都市勧業館みやこめっせ等の各MICE施設、京都府警、京都大学等各大学など関係者の皆様方との連携をさらに強化するとともに、より一層良質な国際会議の誘致、安心・安全な開催の支援に努めてまいります。

年別開催件数・参加者数（京都市域）



京都市域	開催件数	210件	前年比 122.1%
	総参加者数	135,611人	前年比 129.0%
京都市域を除く府域	開催件数	15件	前年比 166.7%
	総参加者数	4,794人	前年比 121.9%
京都府全域合計	開催件数	225件	前年比 124.3%
	総参加者数	140,405人	前年比 128.7%

当財団では、京都府・京都市からの補助金を財源として、京都へのMICE誘致・開催支援を目的とする各種助成金・補助金制度を設けております。

京都市域においては、今年度から「ユニークベニュー活用」に係る経費補助を新設いたしました。また、京都市内での開催実績があるMICEに対して助成額を加算いたします。

その他、これまでから運用をしていた各種制度についても予算を拡充することで、これまで以上に多くのMICE開催を支援してまいります。

また、昨年度に引き続き、観光の繁忙期である3月下旬～4月上旬、11月下旬等は補助・助成除外日とし、閑散期への誘導を図るほか、申請開始日を上期・下期に分けることで、下期に開催されるMICE主催者の申請の利便性を向上させます。加えて、本年

3月に策定した「環境に配慮したサステナブルMICE京都ガイドライン」に基づき、助成金を利用する主催者に対して環境負荷を軽減するための取組を促し、環境に配慮したMICEの開催も促進してまいります。

京都府域では、昨年に引き続き、関西圏域で開催される会議の府域での分科会やエクスカージョンも支援の対象とし、大阪・関西万博を契機にMICE誘致を一層推進していきます。

詳しくは当財団のホームページにて御確認ください。なお、既に多数の申請を頂いており、要件を満たしていても御利用頂けない場合もございますので、予め御了承ください。

以下のQRコードからページにアクセスして御申請ください。



当財団では、海外でのMICE商談会への参加や京都でのMICE商談会の開催などの海外プロモーションも積極的に行っています。今年度実施したの中で直近の取組について、ご紹介させていただきます。

### ① The Meetings Show Asia Pacific 2025に参加

4月16日～4月17日にシンガポールで開催された「The Meetings Show Asia Pacific 2025」に参加しました。

本イベントは世界中からMICE業界のプロフェッショナルが集結するアジア太平洋地域最大級の商談会で、MICE案件を保有する招待バイヤー（PCO（会議開催、またはその関連行事を取り扱う会社または個人のこと）/DMC（開催地に関する豊富な専門知識、情報、経営資源等を活用し、MICE等に関わるプログラム、ツアー等を企画・提案し、サービスを提供する会社）/旅行代理店/イベントプランナー/学術集会事務局等）と連日に渡って約50件の商談を実施し、京都でのMICEを提案するための、ユニークベニュー、アクティビティ、ホテル、MICE施設等の情報提供を行いました。

今後も、今回の商談会で新たに関係を築いたバイヤーと引き続き連携し、新たなMICE誘致を目指します。



### ② IMEX Frankfurt 2025に京都ブースを出展

5月20日～22日にドイツ・フランクフルトで開催された、欧州最大のMICE専門見本市である「IMEX Frankfurt 2025」において、京都ブースを出展し、国立京都国際会館、ヒルトン京都とともに商談を実施しました。

今回の商談会では、昨年と比べ、数多くの国際会議案件を保有する海外バイヤーとの商談の機会を得られ、京都での開催実現に向けネットワークを広げることができました。

商談では、環境に配慮したMICE開催についての問合せもあり、「サステナブルなMICE開催補助制度」を全国に先駆けて創設していることや、ガイドラインやCO<sub>2</sub>排出量算出ツールをリリースし、一部の支援制度の要件化にしていることなど、世界的にも先進的な取組を進めていることをアピールすることができました。



当財団では、京都での MICE の開催件数の拡大を目指すと同時に、サステナブル（持続可能）な MICE 開催の促進にも注力しています。

昨年度末に、当財団の WEB サイトにおいて「環境に配慮したサステナブル MICE 京都ガイドライン」を公開し、環境に配慮した MICE 開催の為の具体的な方法をお示ししながら、「CO2 排出量計測ツール」で CO2 排出量の算出が可能となりました。また今年度から大規模国際コンベンション開催支援助成金の申請にあたり、こういった取組を行うことを必須要件としており、環境にやさしい MICE の実現を目指して取り組んで参ります。

加えて、2023 年に、サステナブルな取組に補助を行う「サステナブルな MICE 開催支援補助」を全国で初めて創設し、環境配慮の取組以外にも、MICE の開催により市民・学生との交流や参加が推進され、これまで 100 件を超える会議等で活用されています。

同様に、「京都らしい MICE 開催支援補助」では、伝統産業製品や伝統文化の活用を目指したもので、これまで 10 年以上、多くの会議で活用されています。

MICE の開催は高い経済効果を得られますが、同時に、環境・地域貢献を中心としたサステナブルな MICE の開催を促進して参ります。

京都市では、2025 大阪・関西万博開催期間中に来日する海外からの政府・ビジネス関係者とのビジネス交流やネットワーク構築を図るため、市内の企業視察やスタートアップとの交流などを含む「TechTourKYOTO」事業を実施しており、当財団では同事業の事務局を担っております。

本格実施の初回として、2025 年 5 月 21 日（水）にポーランドとラトビアの農林水産、IT、食品、衣料など多岐にわたる 14 社を対象にツアーを実施しました。

当日は、京都リサーチパークを訪問し、入居企業様よりご担当者様にお集りいただき、参加者より本国での活動内容や自社の PR など発表いただき、企業との意見交換、交流を行ったほか、西陣織会館にも立ち寄り、京都の伝統の美と技にも触れていただき京都の魅力体験いただく事ができました。

引続き、各関係個所と連携しながら、産業都市京都の魅力を発信し、ビジネス交流の促進支援をして参ります。

当財団が共同代表を務める「大阪・関西万博きょうと推進委員会」では、大阪・関西万博を契機に京都の地域や文化・環境、産業、観光の魅力国内外へ発信するため、万博会場を京都のゲートウェイと位置づけ、京都府内各地へ誘客を図るイベントの開催や SNS による情報発信など、多彩な取り組みを展開しています。また、同推進委員会が認証する取り組みについても、企業や団体などから数多く寄せられ、京都が一体となり連携を深めています。

世代や国籍、立場などの枠を超えて、人々の交流が今まで以上に盛んになり、観光や国際会議などが活発になることは大変意義深く、万博が京都の発展に大いに貢献するものとなるよう、引き続き取り組んでまいります。

### 【7月のイベント PICK UP】

#### ① 関西パビリオン「京都ゾーン」(万博会場内)

概ね 1 週間のサイクルで内容を入れ替えて展示中です。

##### 京友禅サリー及びカフタンの展示 (京都工芸染匠協同組合)

7月21日(月・祝)～27日(日)

京友禅カフタンは初お披露目、京友禅サリーも新作を発表予定



#### ② フラッグシップアクション

けいはんな学研都市で 10 月まで開催中の「けいはんな万博」では、科学技術の力で誰もが暮らしやすい未来を体験できる多彩なイベントが開かれています。



#### スタートアップ フェス

7月25日(金)

住民参加型未来社会ショーケース。国内外のスタートアップの多彩な新技術が、展示・体験デモと発表で体感できます。

#### ③ 認証制度

企業や団体による万博を契機とした府域への誘客や機運醸成の取り組み。現在 151 件の取組が認証事業として登録されています。(5/30 時点)

##### ～祇園祭にいける～いけばな展

7月15日(火)～17日(木)

祇園石段下から四条烏丸の商店街のお店に、京都いけばな協会の名家名流によるいけばなが展示されます。



#### ④ 京都の万博情報発信拠点 [EKISpot KYOTO]

JR 京都駅ビル 2 階において、京都府内で実施される万博関連イベントなどの情報や府域の魅力を発信しています。



<https://expkyoto.jp/>  
公式HPや公式 SNS でも発信中!

## 文化発信 第5回「古典の日文化基金賞」受賞者決まる

古典文化の研究・普及・啓発に貢献した個人と団体を顕彰する「古典の日文化基金賞」の第5回受賞者が決定しました。

「文学・思想」部門は、平安文学研究者で京都先端科学大学教授の山本淳子氏に。「伝統芸能・音楽」部門は、歌舞伎の演目を再創造する木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一氏に。「美術・生活文化」部門は、約30年にわたり『源氏物語』をテーマに撮影を続ける写真家の中田昭氏に贈られます。

また、若者たちの古典文化活動を応援する「未来賞」は京都府の京都光華中学校／高等学校伝統文化教育、大阪府の能勢人形浄瑠璃鹿角座、長崎県のひよこの会童謡合唱団の3団体に贈られます。

授賞式は9月3日（水）に京都コンサートホールアンサンブルホールムラタで行われます。詳細はホームページをご覧ください。

## 文化発信 街かど古典カフェの開催

落語家の桂吉坊さんを講師に『落語と伝統芸能～“笑い”の関係～』と題して京都芸術センターを会場に5月23日に開催。平日にもかかわらず60人が受講。日本の芸能の成り立ちから変遷を笑いを交えながら解説いただき、元禄時代に成立したといわれる落語は登場人物を1人で演じる世界的にも珍しい芸能であることを講談との違いを実演を交えてわかりやすくお話しいただきました。最後は「まんじゅうこわい」の落語であつという間の90分。吉坊ワールドをお楽しみいただきました。



## 文化発信 開館20周年の京都迎賓館にお出かけください

京都迎賓館は、平安建都1200年記念事業の一環としてオール京都で国に対して誘致を行い、2005年（平成17年）に京都御苑内に開館した国の迎賓施設です。今年4月に20周年を迎え、海外からの賓客をお迎えする時と同様の室内レイアウトでガイドツアーを行うなど、年間を通じて特別企画を展開中です。

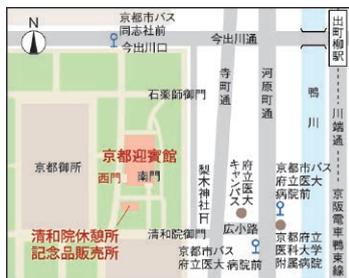
当財団は、同館開館以来、京都府、京都市、京都商工会議所とともに同館支援4者として賓客のもてなしを行うほか、一般公開や特別企画への協力、オリジナル記念品の企画・販売などを行ってきました。

今回の20周年に際しても、同館の紹介と御苑内の散策などに便利なマップを両面に印刷した新たなチラシ（A4判）を制作し、京都総合観光案内所「京なび」などで配布しています。また、京都迎賓館記念品販売所では、開館20周年記念特別版参観記念符などを好評販売中です（賛助会員優待あり）。

この機会にぜひ、京都迎賓館にお出かけください。



ガイドツアーで着席体験ができる「藤の間」の椅子などと同じ西陣織（正絹）生地で作られたポーチや長財布など



金箔押しのある五七桐紋が美しい、特別版記念符



<https://hellokcb.or.jp/bunka/product.php>

## 新規賛助会員のご紹介 2025年7月1日現在

ホテル京都エミナース  
所在地：京都市西京区大原野東境谷町2-4  
H P：https://k-eminence.com/



Fuji Travel 株式会社  
所在地：京都市下京区石不動之町682-6  
H P：https://fuji-travel.com/



カルチュラル・エデュケーション・カウンスル  
株式会社ルウルウ商會  
所在地：京都市中京区丸太町通高倉東入坂本町686  
CASA 御所南2B  
H P：https://www.loulou.co.jp/



公益財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー (KCVB) 〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町78番地 京都経済センター 3階

TEL:075-353-3050 FAX:075-353-3055

<https://hellokcb.or.jp>

インボイス制度に係る登録番号 T9130005012622